



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2024. **1**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 397

- 国際会長：Urlik Lauridsen [デンマーク] 輝かそう、あなたの光を
Let Your Light Shine
- アジア太平洋地域会長：利根川 恵子 [東日本区川越] 変革のための光となろう
Be the light for change
- 西日本区理事：深谷 聡 [名古屋クラブ] 未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future
- 九州部部长：中西 賢一 [熊本クラブ] 今こそ動き出そう 九州から風を



未来の子どもたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう!

鹿児島クラブ会長 徳田 穰

鹿児島ワイズメンズクラブ12月定例会の報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

12月はクラブ恒例のクリスマス例会でした。今年もコロナ禍やインフルエンザ流行を考慮して、鹿児島市国際交流センターで飲食を伴わない例会としました。クリスマスメッセージは鹿児島キリストの教会の唐川尊議牧師にお願いしました。キリストがお生まれになった時、イエス様の誕生を天使たちは裕福な人や特権階級の人ではなく、なぜ羊飼いだに知らせたのでしょうか、という興味深い問いかけに卓話は始まりました。当時、羊飼いたちは貧しく差別を受けていましたが、神は弱い人、貧しい人に近づいてゆかれる。それは現世にもありますよとアメリカでの牧師様の体験を通してお話してくださいました。それから、クリスマスは「愛の時」であると。それから出席者皆さんお一人お一人のショートショート「2023年をふり返って」で締めくくりました。特筆すべきは鹿児島YMCAのチアダンスの皆さんの世界的活躍は我々、ワイズメンズクラブの会員の皆さんの励みにもなりました。来年はチアダンスの皆さんの飛躍に負けないように、ワイズの皆さんも大いにジャンプしましょう。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



未来の子どもたちの育成のために鹿児島YMCAと共に行動をおこそう！

明けましておめでとうございます。本年も元旦から天気にも恵まれ、皆様良いお正月を迎えられたことと思っています。年の初めなど節目節目を大切にすることは、日本人の生活の知恵でないかと思えます。「一年の計は元旦にあり」ということで、皆様方も何かと誓われたり目標を立てたりしたのではないかと思います。文藝春秋(1月号)に各界の著名人が書いた「私が大切にしている10のこと」が載っていたので、それに習って私が大切にしているというか、こうしたいという思う目標を元旦の日に作って書き出してみました。①早寝、早起きをする。②食事は必ず野菜をとる。③毎日散歩し、5,000歩は歩く。④すぐ怒らないようにする。⑤家族を大切にする。⑥小さな親切を心掛ける。⑦ワイズメンズクラブの活動を楽しんで行く。⑧YMCA活動を通じて将来を担う子どもを育てる。⑨教会に行き、礼拝を守る。⑩終活を行う。以上10の目標を立ててみましたが、三日坊主にならずにどれだけ実行できるか心許ない限りです。

12月のクリスマス例会では、鹿児島キリスト協会の唐川尊議牧師にクリスマスメッセージをしていただきました。イエスは貧しい弱い者を救うために、この世に生まれてきたということ为例えをあげ、わかりやすく素晴らしいクリスマスメッセージをしていただきました。ありがとうございました。

1月からいよいよ後期が始まります。後期の船出は私達が心から願っていた新内俊昭さんの入会式から始まります。新内さん、私達と一緒にワイズライフを大いに楽しみましょう。後期は今まで以上にワイズ活動が皆様にとって楽しいものとなり、また、自己啓発が図られ何らかの心の糧を得られるような運営に努めて参りたいと思えます。具体的には、皆様やビジターの方々が興味を持ってくれそうな卓話を2回、他クラブとの交流として八代クラブと合同で花見例会などができないか検討して参りたいと思っています。

後期もワイズスピリットを忘れることなく、ワイズライフを皆様とともに楽しんで参りたいと思っていますので、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



未来に灯そう希望の光り
Let's illuminate the light of for the future

昨年は、皆様には大変お世話になりました。どうぞ今年も宜しくお願い申し上げます。

新年早々ですが、悲しい報告をお伝えします。既にご承知のことと思えますが、西日本区第27期の国際・交流事業主任の牧野万里子ワイズが急逝されました。御霊の安らかに憩われんことを心からお祈り申し上げます。私達は、牧野ワイズの事業主題である『異文化交流を楽しもう！』～世界のワイズメンと共に～ この言葉をこれからも心に憶えて参ります。

私達の心の中では、牧野ワイズは共にいると思えます。11月12日4人の事業主任と京都ワイズデーに参加して、電車で大阪茨木クラブの例会に行ったことが牧野ワイズとの最後の良い思い出です。後任として、国際・交流事業主任を小田 哲也ワイズ(福岡中央クラブ)にお引き受け頂く事となりました。小田ワイズから牧野ワイズへは事業主任の引き継ぎを行っており、皆様におかれましても、ご安心頂けることと思えます。

今年は、更に明るく楽しい活動で内外のクラブと繋りたいものです。コロナ禍がひと段落と思いきや今度は戦争が立ちだかかります。この苦難に同じ志を持った国内外の仲間達と、この時代に何ができるかを直接向かい合って話し合い、互いの活動に反映させたいものです。2025年熊本でのアジア大会は正に絶好の機会になると期待します。日本のワイズメンが一堂となってアジアの仲間を熊本で迎え入れましょう。ガザやウクライナに行く事はできなくとも、熊本で灯す希望の光で平和の道を照らしましょう。

国際会長メッセージ

国際会長 ウルリック・ラウリドセン

新年を迎えるにあたり、多くの方が個人的な目標や抱負を立てるのが通例です。しかし、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)の1年はそれとは異なります。私たちの目標は、新しいリーダーシップの発足に合わせて、7月のかなり前に設定されることが多いです。このプロセスは、それぞれに異なるものではありませんが、野心と回復力に関する普遍的な真実を含んでいます。

元国際会長の力強いテーマ「小さな夢は見るな」を振り返りながら、私は、真心と決意をもって壮大なビジョンを追い求め、その達成のためにたゆまぬ努力を続けてきた数え切れない人たちのことを思い出します。彼らの旅路は、私たち全員が受け入れるべき精神の模範であり、特に、私がすべての新しいリーダーに受け入れるよう奨励するスローガンに集約されています。「より高く、より遠くへ」。

リーダーシップにおいても人生と同様、困難は避けられません。昨年、YMIは数々の困難に直面しましたが、前向きなマインドセットと崇高な目的のあくなき追求こそが、私たちの存続と成功を確かなものにします。この信念が、これからの1年を導いてくれることでしょう。

この新年、私たち全員が希望とインスピレーションの光となりましょう。前向きな姿勢で、ワイズメンの仲間と野心的な夢を抱くよう励まし、皆さんの光を明るく輝かせましょう。

新年が皆さんにとって幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。成功、成長、そして最高の願いの実現に満ちた年でありますように。

12 December クリスマス例会報告

日 時：令和5年12月12日(火) 19:00～20:30
 場 所：鹿児島市国際交流センター
 出席者：11名
 司会者：山口

12月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	8名
メネット	0名
コメット	1名
ゲスト	2名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
12月出席率	110%

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今月の樹 センリョウ



お正月の木の実である。「マンリョウ(万両)」より一桁少ないが、実が上を向いて付いているので、目出度いことに使われるのであろう。高さ1m以下の常緑小低木で、茎は節の所が膨らんでいる。6月頃目立たぬ黄色の花を付け、実は熟すと赤色になる。黄色い実の成るものをキノミセンリョウと呼ぶ。

学名は、Chloranthus glaberで、センリョウ科センリョウ属である。本州の東海以西の林間に分布する。ちなみにマンリョウはヤブコウジ科ヤブコウジ属で全く異なる。



今月の聖句

心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。

(マタイによる福音書 5章3節)



鹿児島ワイズメンズクラブ
 WEBサイトはこちら▶



1月5日（金）鹿児島県観光連盟関係者新年互例会によんでいただき演技を披露させていただきました。新年最初のイベントということで活気溢れる1年となるよう想いを込めた時間となりました。
2024年もどうぞよろしくお願いたします。



前日13日に、富士五湖ワイズ新年例会に参加した様子

1月14日（日）オンラインチアレッスンを行っている山梨YMCAの地区大会出場してまいりました。初年度は5名、今回は7名で東京大会② Half-Time USA に参加。大会にでるまでの過程でそれぞれの成長を見せてくれる機会となりました。この大会をきっかけに、さらに目標高く次のステップに移ろうとしているメンバー。これからは益々楽しみです。



1月20日（土）は、男女共同参画と生涯学習のイベント「サンエールフェスタ2024」のオープニングに出演して参りました。生涯学習課のみなさんやスタッフの皆さん、お客様から暖かい拍手と共に「応援しています！」というお声掛けをいただき子ども達自身、次週に控えている地区大会に向けて気が引き締まる時間となりました。「元気をもらった!」、「みなさんの大ファンになりました!」というお言葉も頂き、チアダンスを通して診ている人へしっかり伝わっているのだということを実感することができ、チアの可能性を改めて感じました。



1月27・28日熊本市総合体育館にて鹿児島YMCAチアダンススクールの子供達達は、チアダンスの大会に11チームが出場してまいります。今年は、選手クラスのメンバーだけでなく、一般クラスの子供達も大会に向けてチャレンジしてきました。詳細はまたご報告させていただきます。応援、よろしくお願いたします。

鹿児島YMCA 大平 さやか